



**5/23 (水) 自治会長退職者、
長年勤続者への感謝状贈呈式**

1年以上自治会長を勤め、平成23年度中（平成24年5月末日まで含む）に退職した方、自治会長勤続10年以上の方に対して、感謝状の贈呈式が行われました。
退職自治会長代表で与儀 徹さん（前緑ヶ丘自治会）は「自治会活動のとき、雰囲気がいとも明るく、幸せホルモンが充満していると感じた。人々が楽しんでいるのを見ると今でも充実感を感じる。自治会長を辞めても、幸せホルモンを求めてイベントなどに参加したい」と今後の地域活動にも意欲を示していました。



**6/14 (木) 市婦人連合会
市長を表敬訪問**

市婦人連合会会長仲西さんをはじめ同連合会役員と各支部の会長・副会長が市長を訪問しました。
会長の仲西さんは、月1回の会議では市婦連の活動が楽しくできるよう情報交換をし、工夫をこらしていると報告をしました。各支部長からも地域、文化、教育、広報等を活発に行い、地域を支えていると活動内容を熱く語っていました。「愛の声かけ運動」にも多くの会員が参加したそうです。
市長は「様々な活動に感謝します。みなさんの報告で、地域が活発化していることに納得しました」と活動に対し感謝の意を述べました。



5/26 (土) 浦西地区学習等供用施設落成

平成23年10月から建設工事に取り掛かった浦西地区学習等供用施設の落成式が行われました。本市では9つ目の学習等供用施設となります。地域の学習活動、文化活動、自治会活動、社会教育活動等の拠点となり、公民館としての役割も担うことで地域力の向上に大きく寄与します。
浦西自治会30周年の節目の年いめでたく完成したこともあり、自治会30周年の記念式典も同時に行われました。
浦西子ども会代表の比嘉梨花さんは「立派な公民館を作ってくれてありがとうございます。できるのを心待ちにしていました。公民館でエイサー練習をして夏祭りを盛り上げます」と施設完成の喜びを語りました。



**5/30 (水) ごみゼロの日
不法投棄パトロール出発**

5月30日は語呂合わせで5・3・0（ご・み・ゼロ）の日です。この日に中央保健所管内でごみの不法投棄等県下一斉パトロールが行われました。浦添市内では、2か所の不法投棄の現状を確認しました。2か所とも一般廃棄物やタイヤ、テレビなど粗大ごみが捨てられていました。
ごみの不法投棄は、土壌汚染や水質汚濁の原因にもなります。不法投棄されたごみの所有者が特定できれば、県と連携、指導することで、不法投棄根絶を目指します。



**6/12 (火) なにげない声かけで
子どもたちに安心感を**

「6.12 愛の声かけ一斉早朝コール作戦」が実施されました。毎年恒例の「愛の声かけ運動」は今年で12年目です。家庭や学校、自治会や婦人会など市内の多くの個人、団体の方が参加し、安波茶交差点をメイン会場に市内全域で行われました。
出発式で市長は「平成15年に『愛の声かけ てだこの都市宣言』をしました。なにげない声かけが、子どもたちに安心感を与えます。今後とも、家庭、学校、地域、企業、行政が一体となり、青少年の健全育成と更なる地域力の向上に取り組ましましょう」と挨拶をしました。



**5/8 (火) 市民の相談者
民生・児童委員出発式**

5月12日から5月18日までは「広げよう 地域に根ざした 思いやり」をキャッチフレーズに掲げる民生委員、児童委員の活動強化週間でした。
日頃、様々な不安を抱えた方々の相談などを受け、地域社会の安心・安全な生活を守るために活動している民生委員、児童委員が、その活動を広く市民へアピールするため、パレードの出発式が市役所の中庭で行なわれました。
市長は「日頃から安心・安全な地域社会づくりに努めていただき、感謝します。今後も一丸となって、取り組んで欲しい」と激励しました。



**5/18 (金) 「人間を救うのは、人間だ」
赤十字社資募集出発式**

浦添市赤十字奉仕団の社資募集出発式が市役所中庭で行われました。赤十字社は日頃から義援金の募集、ボランティア活動、こころのケアなど幅広い活動を展開しています。その活動に必要な社資を募る活動の出発式でした。
赤十字奉仕団委員長 山川 重子さんは「『人間を救うのは、人間だ』のスローガンのもと、明るい笑顔で企業へ救援活動を呼び掛け、目標額を達成するように全力で頑張りましょう」と挨拶をしました。
企業訪問には市長も参加し支援を呼び掛けました。